

2009年度 分野別事例・概況シート

1. 分野	小学校1年生及びその保護者による土曜ネイチャーゲームクラブ																												
2. 氏名	青木 孝一																												
3. 事例報告	<p>3-1 事例の概要</p> <p>小学校の校長先生の熱意により、1年生児童と保護者を対象にした「土曜ネイチャーゲームクラブ」を立ち上げ、テーマごとに年間8回から9回の活動を実施してきた。</p> <p>2007年度、2008年度の2年間、日本ネイチャーゲーム協会の職員が主に関わってきたが、2009年度からは地元地域の会がそれを引き継ぎ、実施している。</p> <p>過去2年間「土曜ネイチャーゲームクラブ」実施した結果、子ども達の自然への興味・関心が高まり、感性や思いやりの心が育った。また、活動を通して、学校と保護者の連携や保護者同士のつながりを深めることができたとの評価により、実施を継続していくことになった。</p> <p>3-2 事例の内容</p> <p>● ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の自然への興味を持ち、生きる力の育成に貢献する ・ 身近な自然の楽しさを体験を通して学び、感性を育てる ・ 親子で活動することにより、親子の絆を深めるきっかけとする。 ・ 1年生保護者の横のつながりをつくり、来校できる機会をつくる。 <p>● 実施アクティビティ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">6月20日</th> <th style="width: 20%;">7月11日</th> <th style="width: 20%;">9月12日</th> <th style="width: 20%;">11月28日</th> <th style="width: 20%;">12月19日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校庭にいる 身近な生き物</td> <td>竹クラフト</td> <td>星座の世界</td> <td>葉っぱの美術館と 飛ぶタネの不思議</td> <td>ドングリで遊ぼう</td> </tr> <tr> <td>ノーズ ダンゴ虫と 遊ぼう</td> <td>フィールドビンゴ 竹鉄砲づくり</td> <td>星座パネル づくり</td> <td>森の色あわせ 葉っぱのマウントづくり 飛ぶタネづくり</td> <td>ごちそうはどこだ クリスマスリース づくり</td> </tr> <tr> <td>親子68名参加</td> <td>親子76名参加</td> <td>親子53名参加</td> <td>親子49名参加</td> <td>親子58名参加</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">1月16日</th> <th style="width: 70%;">2月13日 (これから予定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木はともだち</td> <td>一日親子遠足 川崎黒川青少年野外活動センターへ</td> </tr> <tr> <td>落ち葉であそぶ 冬芽の観察</td> <td>ピザづくり 野外あそび</td> </tr> <tr> <td>親子58名参加</td> <td style="text-align: center;">未定</td> </tr> </tbody> </table> <p>● 参加者の反応 (2008年度の感想より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ピザを自分で作って焼いたからすごく美味しかった。 ・ 植物や生き物に対する知識や美しさの感動が増した。 ・ いつも歩いている道や公園で「この間、ネイチャーゲームでこんなの見たね」とか、周りを見る視点が少し変わったような気がする。 ・ 子ども同士、親同士も親しくなれて、とても感謝しています。 	6月20日	7月11日	9月12日	11月28日	12月19日	校庭にいる 身近な生き物	竹クラフト	星座の世界	葉っぱの美術館と 飛ぶタネの不思議	ドングリで遊ぼう	ノーズ ダンゴ虫と 遊ぼう	フィールドビンゴ 竹鉄砲づくり	星座パネル づくり	森の色あわせ 葉っぱのマウントづくり 飛ぶタネづくり	ごちそうはどこだ クリスマスリース づくり	親子68名参加	親子76名参加	親子53名参加	親子49名参加	親子58名参加	1月16日	2月13日 (これから予定)	木はともだち	一日親子遠足 川崎黒川青少年野外活動センターへ	落ち葉であそぶ 冬芽の観察	ピザづくり 野外あそび	親子58名参加	未定
6月20日	7月11日	9月12日	11月28日	12月19日																									
校庭にいる 身近な生き物	竹クラフト	星座の世界	葉っぱの美術館と 飛ぶタネの不思議	ドングリで遊ぼう																									
ノーズ ダンゴ虫と 遊ぼう	フィールドビンゴ 竹鉄砲づくり	星座パネル づくり	森の色あわせ 葉っぱのマウントづくり 飛ぶタネづくり	ごちそうはどこだ クリスマスリース づくり																									
親子68名参加	親子76名参加	親子53名参加	親子49名参加	親子58名参加																									
1月16日	2月13日 (これから予定)																												
木はともだち	一日親子遠足 川崎黒川青少年野外活動センターへ																												
落ち葉であそぶ 冬芽の観察	ピザづくり 野外あそび																												
親子58名参加	未定																												

	<p>3-3 分野におけるネイチャーゲーム実践のポイントと留意点</p> <p>1年生の児童と保護者が学校で集い、自然の美しさや不思議さに触れて、楽しみ、児童や保護者同士の交流を深めていくことをねらいとし、過去2年間実施したプログラムを基に季節を意識したプログラムを計画した。</p> <p>3-4 活動の評価</p> <p>「豊かな感性をもち、他者を思いやる心と態度」の育成を目的に一昨年から実施してきた。児童や保護者からの評価は高く、9割以上の方が満足したとの感想であった。</p> <p>プログラムは、クラフトや天体等のアクティビティを組み合わせ、季節の自然とふれあうことに重点をおいた。回を重ねるごとに参加者が増え、ネイチャーゲームの魅力や自然のおもしろさが伝わってきているようだ。</p>
	<p>3-5 今後の課題</p> <p>「富士見小 土曜ネイチャーゲームクラブ」が誕生して今年で3年目。</p> <p>事業のPRから当日の運営までを校長先生が中心となり実施されているが、これからもこの事業を継続・定着化させていくために、より多くの学校関係者（教員やPTA等）との連携を検討していくことも重要であると思われる。</p> <p>3-6 写真</p> 
<p>4. 分野の概況</p>	<p>4-1 分野の今日的な概要</p> <p>学校運営を円滑に進めていくためには、学校としての運営方針やビジョンを保護者や地域住民に理解していただいたうえで、日常的な教育活動場面で協力を得ていくことが重要である。</p> <p>4-2 分野を理解するキーワードとその説明</p> <p>PTA活動や相談以外で学校長が保護者と直接関わる場面はそう多くはないと聞いている。「直接、顔を合わせ、言葉を交わす機会を増やしていくことで、理解が深まったり、協力が広がったりする。」このような学校長の考えをベースに1年生児童と保護者による「土曜ネイチャーゲームクラブ」が誕生し、今年度で活動3年目となる。</p> <p>4-3 その分野を学ぶための参考資料</p> <p>「小学校の授業に生きるネイチャーゲーム スタート編」</p> <p>4-4 その分野に関係する主要団体</p> <p>相模原市立富士見小学校</p>